

【活動のご報告】

防災座談会

3月13日(木)、日増しに暖くなる陽気の中、防災座談会が中小口地区コミュニティセンターでおこなわれました。参加者は15名、主にグラウンドゴルフのメンバーでしたが、近隣の方も何人も参加されました。

講師は北地域自治組織防災部会の川橋さん。テレビ画面にパワーポイントを映しながら、地震についての話をされました。

最近の大地震は「想定外」が多いようです。といっても純粹に「想定以上に大きな揺れ」ということばかりではないようです。「このあたりでは大きな地震は起こらないという伝説」が広く信じられていたり、経済発展が優先されたりして、地震対策が後回しにされた結果、被害が大きくなったというケースも少なくないようです。ほかに、想定はされていたものの、直前に別の大きな地震が起こったために「もう起こらないだろう」と地震学者でさえも言っていたところに震度7が起こった、ということもあったようです。やはり備えは大事です。

震度5程度でも、道路の陥没やブロック塀の倒壊、瓦の落下は起こりえます。夜に被災した場合は、懐中電灯を使うか、明るくなるのを待ってからの方が安全を確保できます。

被災したら、近所の助け合いがとても大事です。怪我人の救助はもちろん、食料や水の融通、避難所の運営など、地域の助け合いがなくてはうまくいかないこともあります。たとえ馬が合わない隣人であっても、非常事態には助け合えるよう、せめてあいさつができるくらいにはなっておきたいものです。

「避難行動要支援者登録制度」の紹介もありました。災害対応に不安のある高齢者や障がい者が、被災時の声掛けや移動などの支援をする方を、普段の近所付き合いの延長であらかじめお願いしておく制度です。何らかの責任を伴うものではありませんが、もしもの時の不安を軽減するための制度です。

以上のような話を、気軽な様子でみなさんワイワイと話し合われました。顔見知りが多かったこともあるでしょうが、和やかな雰囲気ですべてできてよかったと思います。



文責・事務員 水野

